

# 視聴覚教育

NO

発行日 140  
 発行 6  
 編集 市 V D  
 編集 会  
 広報委員会

機材資料調査本且報生口

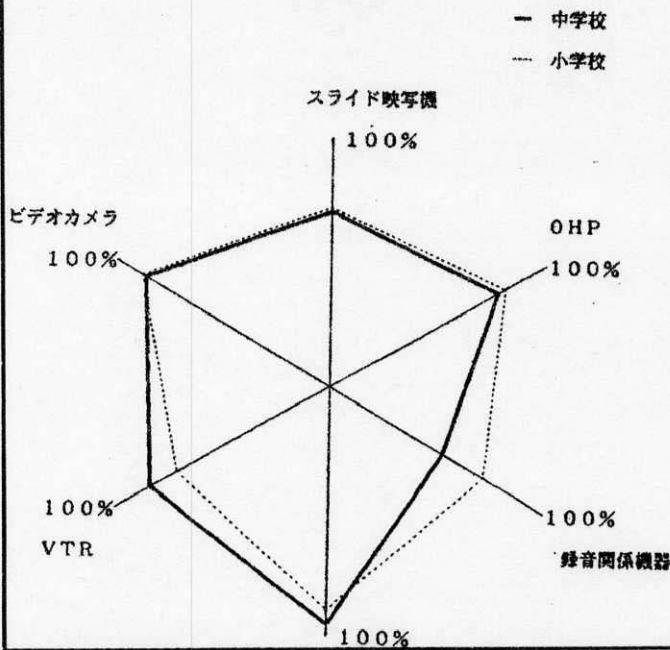
緑丘小 加藤 尚

昭和六十二年八月末日を基準として、各学校の機器保有状況を調査した。調査内容は、従来と変わらず、視聴覚機器の保有数の実態、岡崎市役所の購入基準に対する充足率、利用度の高い機器名と今後充足したい機器等であった。しかし、ニューメディアと呼ばれる機器が次々と学校現場に入ってきている現在、古い機器は使われなくなってきた。そのため昨年に引き続き新しい機器を調査対象に加え、あまり活用されない機器を調査項目からはずした。調査結果から、市内の機器保有状況を考察してみると、

まず、小中学校を通じて言えることは、テレビの充足率が100%近くになっていることである。特に、中学校では双方向システムの導入で急速にゆきわたってきた。しかし、一部では機材の老朽化が進み、最近相次いで発売された高品位テレビなどの導入が待たれる。

ビデオカメラ、スライド映写機、OHPなどの機器は

教育機器保有率



ウ

小中学校でほとんど差がなく、特にビデオカメラは、テレビにつく保有率をしめている。VTRでは、据え置き型のものほとんどの学校で使用されており、AV調整車を導入した学校では、今までのベータマチックだけでなく、VHS方式のVTRも普及してきた。これにより、家庭で録画した教材がベータマチックにダビングすることなくそのまま利用できるようになった。

次に、使用頻度ならびに今後充実したい機器についての集計結果をみてみたい。

ア 使用頻度の最も高い機器は、小中学校ともOHPである。これは、充実したい機器の中でも多くの学校が挙げていることから分かるように、授業に於いて必要性が高いということを示している。

イ 次に多いのがVTRである。これもテレビ放送を録画して利用したり、ライブラリーの自作ビデオを授業の中に取り入れて活用しているからだと考えられる。

ウ 今後充実したい機器の中で最も多いのは、VTRであるが、内訳をみると従来のベーターの据え置き型やポータブル型だけでなく、8ミリビデオやカメラ一体型のVTRを希望する学校が増えてきている。

エ 昨年に引き続きCDやTVフォトといった新しい機器を希望する学校も増えており、この傾向は今後も続くと思われる。

使用頻度	小学校	中学校	合計
OHP	30	13	43
VTR	21	13	34
TV	18	3	21
録音機	22	8	30
スライド		5	5
教材提示機	3		3
ステレオ	3		3
TVカメラ	1		1

充実したい機器	小学校	中学校	合計
OHP	8	3	11
VTR	17	14	31
TV	3	3	6
パソコン	7	4	11
録音機	11	3	14
スライド		2	2
教材提示機	3	1	4
ステレオ	3		3
TVカメラ	4	2	6
TP作成機	3		3
CD	7	1	8
ワープロ	5	5	10
16mm	3	1	4
プレーヤー	1		1
TVフォト		3	3

## 映像サークルだより

最近では8ミリビデオなどのように、手軽に映像を記録できる機器が流行し、誰もが映像の世界を身近に感じることができるようになってきました。機器の便利さゆえに、今や誰もがカメラマンになってしまいうわけです。教師の世界も例外ではなく、個人的にビデオカメラを持つという人が増えてきました。こうした背景をふまえ、映像クラブでは、よりよい映像のとらえ方を追求しようとして活動してきました。当初は「岡崎の百選」を映像化することをテーマに据え、技能面の向上を目指してきましたが、今後はクラブ作品の制作へとステップする予定です。

(江坂 良夫)

ライブラリー企画・委託による現職教育社会科・視覚覚部合同製作によるビデオ教材五本と、8ミリ映画一本が完成。ダビング、貸し出し等、多くの活用を願います。

### 「ビデオ」

・プレゼントを買いにー中心商店がいー

・一色のうなぎ養いよく 十四分 小三社会

・内田さんのぶどう作り 十四分 小五社会

・鬼祭り 十一分 小五社会

・しめ縄作り 十五分 一般

・矢 師 十三分 一般

・「8ミリ映画」 十四分 一般

